



Sankei Shinbun Syuppan Co.,Ltd.

JDNREI

Japanese Disaster Nursing Readiness Evaluation Index

日本の看護師のための災害派遣準備評価指標

Please pronounce JDNREI as [dʒéi-dí'-én- réi].

【目的】

現在、災害の脅威は場所、時間を問わず世界のどこかで大きな被害をもたらし、多くの看護職が災害現場に派遣される機会が増えております。

この尺度は災害医療活動に派遣される看護師の皆様が派遣準備態勢について自己評価することを目的とした指標であり、① 救急看護スキル、②災害対応に必要な実践力、③チームワークのためのコミュニケーションスキル、④日常のストレスコントロール、⑤災害時のストレスフルな状況への適応力、⑥協調性の6つの下位尺度と37問で構成されています。派遣される看護師自身が自分自身を振り返る良い機会となり、看護師自身の準備態勢の把握ができ、看護管理者にとっては、今後の災害派遣要員指定の根拠に役立てることにより、災害派遣前の準備対策の活用につなげることを期待するものです。37項目は尺度の汎用性と精度を高めるために項目数も精選いたしましたので、この37項目だけで災害派遣活動に必要なすべての内容を網羅しているわけではありません。尚、JDNREIは災害サイクルの中でも急性期に使用するものです。また、準備態勢の評価は下位尺度毎ではなくJDNREIの総合得点を用いて行ってください。

【用語の定義について】

災害派遣準備態勢とは「災害環境において適切な看護ケアを提供するために必要な知識、スキル、そして身体的および精神的準備と、災害派遣要請に対応するために、必要となる個人の心身両面の準備」と定義しました。(Maeda et al., 2018)

【記入上の留意点】

- ・ この調査は、災害派遣活動の未経験者・経験者（看護師：准看護師の方を除きます）の両者に適用できます。
- ・ 本調査の回答にかかる時間は8分程度です。
- ・ 回答は、あてはまる番号に○印をつけてください。また、【 】内は数値や語句をご記入ください。
- ・ 質問項目にもれなくご記入いただきますようお願い申し上げます。

【Reference】

Maeda, T., Kotera, S., Matsuda, N., & Huebner, C. A. (2018). Developing a scale to measure Japanese nurses' individual readiness for deployment to disasters. Nursing and Health Sciences. 20, 346–354.

【質問項目Ⅰ】 #1 救急看護スキルにかかわる準備態勢

次の質問（1番～6番）に対する回答は、以下の5つの回答の中からお選びいただき、あてはまる番号に○印をつけて下さい。

- ① ほとんどできない ②あまりできない ③どちらでもない ④ある程度できる ⑤できる

1	ショックの種類について	1	2	3	4	5
2	生命にかかわる危険な外傷の処置	1	2	3	4	5
3	救急救命の基本手順（気道・呼吸・循環のABC）を詳細に述べることはできますか？	1	2	3	4	5
	患者の症状等から判断し、医師に治療計画に関わる情報提供を行う	1	2	3	4	5
5	感染症管理手順の理解	1	2	3	4	5
6	あなたは、現場から派遣施設の救急部まで後送された患者を受けいれました。患者には意識があり、呼吸困難の兆候があります。あなたは経口、経鼻の咽頭エアウェイを用いることが出来ます。この患者に必要なエアウェイを選択できますか？	1	2	3	4	5

【質問項目Ⅱ】 #2 災害対応のための実践力にかかわる準備態勢

次の質問（7番～9番）に関して質問内容に続く回答の中から該当するものをお選びいただき、あてはまる番号に○印をつけて下さい。

7	大量傷病者（MASCAL）発生時の対応について教育を受けましたか？ ① 受けたことがない ② 雑誌，資料等で学んだ ③ 教育を受ける予定がある ④ 職場での教育を受けた ⑤ 部外における教育を受けた	1	2	3	4	5
8	大量傷病者（MASCAL）を実際に受け入れた経験はありますか？ ① まったくない ② 訓練の中で模擬患者に対するトリアージを実施したことがある ③ 救急部でトリアージを見学した ④ 救急部でトリアージを実施した ⑤ 派遣先で多くの実患者を受け入れトリアージを実施した	1	2	3	4	5
9	化学・生物・放射性物質・核物質・爆発性（CBRNE）の外傷を伴う患者の処置 ① ほとんどできない ② あまりできない ③ どちらでもない ④ ある程度できる ⑤ できる	1	2	3	4	5

以下の質問内容に関するあなたの能力について、該当の番号に○印をつけて下さい。

- ① 教育を受けていない ② 教育を受けたが、経験がない ③ 教育を受け、経験が少しある
④ 教育を受け、中程度の経験がある ⑤ 教育を受け、十分にできる

10	派遣先での搬送手順	1	2	3	4	5
11	派遣先での公衆衛生と個人衛生	1	2	3	4	5
12	業務を行う際に順序・方法を決められる	1	2	3	4	5

次の質問（13番～14番）に関しては、5つの回答の中からお選びいただき、当てはまる番号に○印をつけて下さい。

- ① ほとんどできない ② あまりできない ③ どちらでもない ④ ある程度できる ⑤ できる

13	標準的除染装具を用いてあなた自身及び患者を除染する	1	2	3	4	5
14	派遣先で使用する基本的な通信機器（トランシーバー等）の操作ができる	1	2	3	4	5



以上で約半分の調査が終わりました。14項目全てに○印がついているか、もう一度お確かめ下さい。これから、さらに質問が続きます。

【質問項目Ⅲ】 #3 チームワークのためのコミュニケーションスキルに関わる準備態勢

次の質問（15番～22番）に関しては、5つの回答の中からお選びいただき、当てはまる番号に○印をつけて下さい。

- ① ほとんどできない ② あまりできない ③ どちらでもない ④ ある程度できる ⑤ できる

15	ポジティブで表情豊かに話す	1	2	3	4	5
16	同僚によく声をかける	1	2	3	4	5
17	ユーモアを活用する	1	2	3	4	5
18	他人へ仕事内容がうまく指示できる	1	2	3	4	5
19	他人の会話に気軽に参加できる	1	2	3	4	5

20	あらゆる人々と信頼関係を築くことができる	1	2	3	4	5
21	対象に合わせてコミュニケーションのスタイルを変えることができる	1	2	3	4	5
22	自分の立場を堅持しつつ妥協点を見つけることができる	1	2	3	4	5

【質問項目Ⅳ】 #4 日常のストレスコントロールに関わる準備態勢

災害及び大量傷病者の発生は、ストレスおよび諸問題をもたらすものであり、派遣前のストレスと合併する傾向があります。下記の内容について、あなたのストレスはコントロールできていると思われますか？23番～24番は以下の5項目の回答よりお選びいただき、当てはまる番号に○印をつけて下さい。

① まったくできていない ② あまりできていない ③ どちらでもない ④ できている ⑤ 十分にできている

23	家庭内状況	1	2	3	4	5
24	経済状況	1	2	3	4	5

【質問項目Ⅴ】 #5 対人関係構築力（協調性）に関わる準備態勢

次の質問（25番～29番）に対する回答は、5つの回答の中からお選びいただき、当てはまる番号に○印をつけて下さい。

① ほとんどできない ② あまりできない ③ どちらでもない ④ ある程度できる ⑤ できる

25	相手の意見を否定せず尊重することができる	1	2	3	4	5
26	約束したことをやり遂げることができる	1	2	3	4	5
27	自分の過ちを認めることができる	1	2	3	4	5
28	失敗したときにすぐ謝ることができる	1	2	3	4	5
29	人の話を良く聞くことができる	1	2	3	4	5

【質問項目Ⅵ】 #6 ストレスフルな災害現場の状況に対する適応力に関わる準備態勢

下記の事項について適応できますか？

30番～36番は以下の5項目より、37番は質問内容に続く回答の中からお選びいただき、あてはまる番号に○印をつけて下さい。

① まったくできていない ② あまりできない ③ どちらでもない ④ 少しできる ⑤ 完全にできる

30	他者（被災者等）の死	1	2	3	4	5
31	自分自身の死	1	2	3	4	5
32	過酷な環境	1	2	3	4	5
33	プライバシーの欠如	1	2	3	4	5
34	長時間勤務	1	2	3	4	5
35	派遣中に精神的に落ち込んだ際の自分でできる対処方法の理解	1	2	3	4	5
36	あなたが、現在勤務している場所とは異なる被災地等において患者さんにケアを提供しなければならないとしたら、その現場が求める記録、看護ケア・技術、投薬管理方法や患者ケアを抵抗なく実施できますか？	1	2	3	4	5
37	派遣先において、男女共同の仕切りのない宿泊環境に適応できますか？ ① まったく適応できない ② あまり適応できない ③ どちらでもない ④ 少し適応できる ⑤ 適応する自信がある	1	2	3	4	5

以上37項目すべてにご回答いただけましたでしょうか？再度お確かめください。
これから皆様の状況についてご質問いたします。

【質問項目Ⅷ】以下の項目について現在のあなたの状況をお尋ねします。

質問に続く回答の中から、あてはまる、もしくは最も近いものの番号に○印をつけ、【 】内には適当な語句、数をご記入下さい。

I-1	性別 1 女性 2 男性
I-2	現在の年齢 【 】才
I-3	あなたの職能 1 正看護師 2 助産師 3 保健師 ※尚、認定看護師・専門看護師の方は下記にチェックをして領域を記載して下さい。 4 認定看護師 (CN) 【領域: 】 5 専門看護師 (CNS) 【領域: 】
I-4	あなたの役割 1 スタッフ 2 主任・副看護長 3 師長・看護長 4 看護部長・副看護部長
I-5	これまでの勤務の中で最も長い看護専門領域 (ひとつ選択して下さい) 1 精神科看護 2 内科看護 3 外科看護 4 救急看護 5 周手術看護 6 産婦人科看護 7 集中治療室看護 8 小児科看護 9 整形外科看護 10 看護教員 11 訪問看護 12 その他 ()
I-6	I-5でチェックした専門領域におけるあなたの経験年数 【 】年間
I-7	看護師経験年数: 【 】年
I-8-①	過去の災害訓練参加経験 1 あり (I-8-②に進んで下さい) 2 なし (I-9に進んで下さい)
I-8-②	最後に災害訓練に参加した時期 1 1年以内 2 2年以内 3 3年以内 4 3年以上前
I-8-③	上記災害訓練の期間 【 】日・週間・か月
I-9	実際に激甚災害に指定された自然災害あるいは人為災害に巻き込まれた経験 1 はい 2 いいえ
I-10	現在、災害派遣要員 (DMAT・JMAT含む) に指定されていますか? 1 はい 2 いいえ
I-11	もし今、派遣要請がきた場合、家族の同意が容易に得られると思いますか? 1 はい 2 どちらともいえない 3 いいえ
I-12	もし今、派遣要請がきた場合、家族に対するサポート (家族・親族や社会資源) は得られる状況ですか? 1 はい 2 どちらともいえない 3 いいえ
I-13	自分の健康を意識して平素より生活できていると思いますか? 1 はい 2 どちらともいえない 3 いいえ

次のI-14からI-24の質問は過去の激甚災害において派遣された方のみご回答下さい。

I-14	災害発生から何時間後または何日後、何か月後に現地で活動しましたか? (2回以上派遣された方は初回のことについてご記入下さい) 約【 】時間後 / 日後 / か月後
I-15	派遣活動期間 【 】日・週間・か月
I-16	派遣活動においてあなたが現地において活動した医療保健施設等について 1 病院 2 避難所 3 自治体 4 救護所 5 保健所 6 DMATメンバーとして 7 心のケアチームメンバーとして 8 その他 ()

I-17-①	2 回以上の派遣経験 1 あり (I-17-②に進んで下さい) 2 なし (I-18-①に進んで下さい)
I-17-②	2 回以上派遣された方のみお答え下さい。 何回派遣されましたか? 【 】回
I-18-①	国外で災害派遣活動に参加した経験 1 あり (I-18-②に進んで下さい) 2 なし (I-19に進んで下さい)
I-18-②	上記の質問でありと回答された方にお尋ねいたします。 海外での災害派遣活動に参加した期間 (1 回以上の経験のある方は一番長い期間を選んで下さい) 1 2週間以内 2 2週間以上1か月以内 3 1か月～3か月 4 3か月以上
I-19	過去の災害派遣経験 1 あり 2 なし
I-20	直近の災害被災地に今後、災害派遣される可能性について (ひとつ選択して下さい) 1 現在も被災地において活動することがある 2 現在は派遣されていないが、3 か月以内に派遣される予定である 3 現在は派遣されておらず、3 か月以内に派遣される可能性はない 4 その他 _____
I-21	災害派遣経験についてあなたは全体的にどのように感じていますか? 1 よくなかった 2 あまりよくなかった 3 どちらでもない 4 良かった 5 とても良かった
I-22	あなたが災害派遣活動に参加したことについてあなたの家族は理解してくれましたか? 1 理解してくれなかった 2 あまり理解してくれなかった 3 どちらでもない 4 理解してくれた 5 よく理解してくれた
I-23	機会があれば、再び、災害派遣活動に参加したいと思っていますか? 1 はい 2 どちらともいえない 3 いいえ
I-24	派遣活動が終了し、職場復帰した際に上司や同僚から肯定的なフィードバックがありましたか? 1 はい 2 どちらともいえない 3 いいえ

以上で質問項目は終了です。全ての項目に記入漏れがないか、再度ご確認下さい。



ご多忙にもかかわらず、多くの項目にご回答いただき、ありがとうございました。

貴重なお時間を頂きましたことに深謝申し上げます。

Copyright 2019 Takayo Maeda, All Rights Reserved.